

# 京都文化交流 コンベンションビューロー通信

7<sup>2022</sup>月号

KYOTO  
TRADITION MEETS INNOVATION

## CONTENTS



南丹市美山町でラフティング体験をする修学旅行生

- P1…2021 年国際会議等開催状況
- P2…MICE 助成金
- P2…MICE 基金募集実績
- P3…京の修学旅行 3 密防止対策等支援事業
- P3…京都迎賓館記念品販売所の移転オープン
- P3…迎賓館記念品についての賛助会員向け特別価格販売制度の開始
- P4…第 2 回「古典の日文化基金賞」受賞者決まる
- P4…街かど古典カフェスペシャル「キーンさんが愛した京都」
- P4…令和 4 年度「会員の集い」を開催予定

## MICE 2021 年国際会議等開催状況

6 月 17 日、2021 年に京都で開催された国際会議について発表いたしました。

2021 年は、前年から引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が収束せず、入国制限を伴う水際対策が強化されると同時に、国内においても緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置が深刻な影響を及ぼしました。このため、JNTO 基準による国際会議の開催件数は京都市域で 5 件（前年比 19.2%）、市域を除く京都府域では 0 件となり、記録が残る 1987 年の統計調査開始以降最も少ない開催件数となりました。

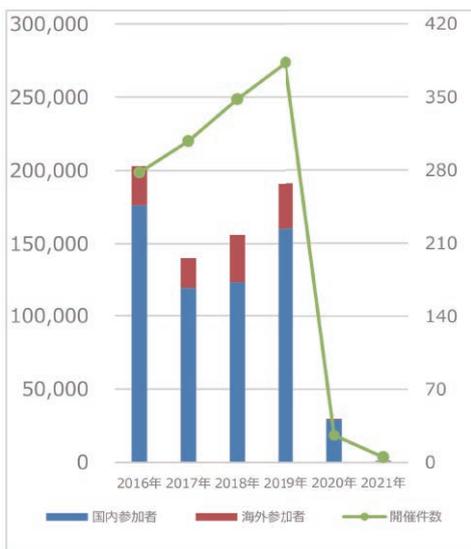
こうした状況の中、当ビューローでは 2020 年に策定した「ウィズコロナ社会における MICE 京都モデル」の改訂や各種助成金の運用を通じて、積極的に安心・安全な MICE の開催を支援してまいりました。9 月には、「MICE 主催者向け PCR 検査等支援補助金」を新設し、

より一層、安心・安全な開催を促進しました。

こうした取り組みが功を奏し、国際会議ではコロナ禍において本格的な大規模国際会議である「第 14 回国連犯罪防止刑事司法会議（京都 कांग्रेस）」が国立京都国際会館で開催され成功を収めたほか、国内参加者のみの会議については、250 件（※）が開催されました。多くの会議が延期・中止になった 2020 年と比較し、2021 年は多くの学会が京都で開催されたことに加え、2022 年以降に開催される予定の計 105 件の会議の誘致にも成功しており、2022 年以降の MICE 開催の本格的な回復が期待されます。（※当ビューローが把握する、現地開催・ハイブリッド形式にて開催された 1 件当たり 50 名以上参加の会議。）

今後も引き続き、皆様と共に、良質な国際会議の誘致、安心・安全な開催の支援に努めてまいります。

### 年別開催件数・参加者数（京都市域）



【京都府全域】	開催件数	5 件（前年比：17.2%）
	総参加者数	1,097 人（前年比：3.7%）
【内、京都市域】	開催件数	5 件（前年比：19.2%）
	総参加者数	1,097 人（前年比：3.7%）
【内、京都市域を除く府域】	開催件数	0 件（前年比：0.0%）
	総参加者数	0 人（前年比：0.0%）

### ※国際会議の計上基準

開催形態	計上基準
現地開催	以下の①～④の全てを満たす会議を国際会議として計上（JNTO 基準）
	①主催者：「国際機関・国際団体（各国支部を含む）」又は「国家機関・国内団体」
	②参加者総数：50 名以上
	③参加国数：日本を含む 3 か国以上
ハイブリッド開催	・現地開催とオンライン開催を併せた開催形態
	・現地参加者が、「現地開催」の基準を満たす会議のみ件数計上し、参加人数は現地参加者数のみを計上
オンライン開催	・オンラインのみで開催される開催形態 ・現地参加者が存在しないため計上しない

当ビューローでは、京都府・京都市からの補助金を財源として、京都へのMICEの誘致・開催支援を目的とする各種助成金制度を設けております。

昨年度、入国制限や緊急事態宣言が続く中、京都市では国内会議を中心に250件（現地開催・ハイブリッド開催を含む）のMICEが開催され、京都らしい文化の活用、伝統産業製品の購入をはじめ大きな経済効果を生み出しました。

令和4年度は、水際対策の緩和等により国際会議の再開も見込まれることから、より多くのMICE参加者に京都の伝統文化・産業に触れていただく機会を創出するため、「京都らしいMICE開催支援補助制度」の運用を引き続き行います。また、これまで小規模～大規模の規模別で運用していた助成金制度を1つに統合し、「京都市MICE開催支援助成金」として運用を行います。

京都市助成制度の概要

	京都市MICE開催支援助成金	京都らしいMICE開催支援補助制度	大規模国際コンベンション開催支援助成金	大規模国際コンベンション誘致支援助成金
対象者	「M」「J」「C」の主催者	「M」「J」「C」「同窓会」の主催者	「C」学会、会議、総会、大会等の主催者	「C」学会、会議、総会、大会等の主催者
対象経費	会議等の開催に要する経費	以下により会議等に京都らしさを演出するために要する経費 ①文化プログラム 舞、和太鼓、茶道、着物着付、鏡開き等の経費 ②伝統産業プログラム ・記念品等の伝統産業製品の購入費用 ・工房見学・体験に要する経費 ・ミスきもの派遣など	会議等の開催に要する経費	会議等の開催に要する経費
助成金額上限	200万円	50万円（一部75万円）	1,000万円	100万円
会期等	2日以上開催	1日以上開催	3日以上開催	3日以上開催
参加人数	現地参加者50人以上 （海外参加者要件なし）	「M」「J」「C」30名～上限なし 「同窓会」100名～上限なし（京都市外在住者5割以上）	3箇国以上かつ500名～上限なし （うち海外参加者100名以上）	3箇国以上かつ500名～上限なし （うち海外参加者100名以上）

※M…企業ミーティング等、J…インセンティブツアー等、C…学会、会議、総会、大会等

京都府助成制度の概要

	コンベンション開催支援	分科会開催支援	コーポレートミーティング等開催支援	インセンティブツアー等開催支援	エクスカージョン支援
対象経費	府域（京都市内を除く）における会議等の開催に要する経費	府域（京都市内を除く）における分科会等の開催に要する経費	府域（京都市内を除く）におけるコーポレートミーティング等の開催に要する経費	府域（京都市内を除く）におけるインセンティブツアー等の開催に要する経費	府域（京都市内を除く）が1か所以上含まれるエクスカージョン催行に要する経費
助成金額上限	参加人数 30名以上49名：20万円 50名以上199名：30万円 200名以上：60万円	参加人数 15名以上99名：20万円 100名以上：30万円	参加人数 30名以上49名：20万円 50名以上199名：30万円 200名以上：60万円	参加人数 30名以上49名：20万円 50名以上199名：30万円 200名以上：60万円	参加人数 15名以上：30万円
会期等	2日以上開催	2日以上開催	2日以上開催	2日以上開催	府内で開催される会期が2日以上会議等または、京都市内で開催される会期が2日以上コーポレートミーティング/インセンティブツアー
参加人数	30名以上49名：日本を含む2か国以上の参加 50名以上：外国人参加者要件無し	15名以上：外国人参加者要件無し	30名以上49名：日本を含む2か国以上の参加 50名以上：外国人参加者要件無し	30名以上49名：日本を含む2か国以上の参加 50名以上：参加者の半数以上が外国人	15名以上 ※インセンティブツアーは、参加者の半数以上が外国人であること

京都府域においては、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年度に外国からの参加者数等の要件を緩和するとともに、小規模な国内会議等にも対象を拡大し、さらに補助金上限額を引き上げましたが、本年度も同内容を維持し、京都府域におけるMICE開催を支援します。

既に大変多くのMICE主催者より申請や問い合わせをいただいております。昨年以上のMICE開催が期待される所ですが、ビューローでは引き続き京都府・京都市と連携し、京都全域における安心・安全なMICE誘致・開催支援に取り組み、地域経済の回復・活性化に取り組んでまいります。

※助成金制度は申請を先着順で受け付けており、申請が多数の場合は受付期間内に申請頂いた場合でもご利用できない場合があります。詳しくはMICE誘致推進課までお問い合わせください。

当ビューローは、京都が誇る悠久の歴史の中で育まれた文化・芸術や、豊かな自然環境、美しい景観の保全・継承・活用を図り、京都の魅力、人々の暮らしの向上、MICE・観光振興及びSDGs達成に寄与する取り組みを支援するため、昨年6月より「京都MICE基金」の運用を開始いたしました。

昨年度、コロナ禍で大変厳しい経済状況の中、多くのMICE主催者・参加者等から、趣旨にご賛同いただき、合計1,090,260円のご寄附をいただきました。ご理解・ご協力賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。皆さまから頂戴した寄附金は、京都の

文化・芸術、自然環境などを守り育む取り組みへの支援経費として、寄附総額が一定額に達したのち活用させていただき予定です。

今般、MICEの開催は順調に増加傾向にあり、引き続きMICE主催者や参加者、趣旨にご賛同いただける法人・個人等に広く呼びかけ、ご支援を募ってまいります。



修学旅行は、子どもたちが日常生活とは異なる環境の中で友人たちと寝食をともにしながら、地域の歴史や文化について学び、見聞を広げる貴重な教育機会であるとともに、学生生活の大切な思い出となるものです。現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国から京都へ来られる修学旅行においても、感染対策が必要な状況となっています。当ビューローでは、安心・安全な京都の修学旅行を楽しんでいただけるよう、京都府からの補助金を財源とした「京の修学旅行 3 密防止対策等支援事業」を令和 2 年度から実施しています。

この事業は、密集、密閉または密接な状態を避けた移動・滞在を確保するため、宿泊施設の部屋数や食事会場を増やしたり、貸切バスを増車するなどの取組や、旅行中に生徒が新型コロナウイルス感染症陽性と判明した際に保護者等が送迎を行う交通費等の負担を軽減するものです。

さらに、今年度から、修学旅行の行程として「もうひとつの京都」エリアを周遊した場合や、歴史や伝統産業などの体験機会を提供する施設を利用した場合に、補助金を上乗せできる加算制度を新設しています。今後とも、全国から京都へ多くの修学旅行に来ていただくことを通じ、日本の伝統文化のすばらしさを伝えるとともに、京都経済の発展に寄与してまいります。



茶畑ウォーキングの様子

当ビューローでは、京都迎賓館の椅子に張られている西陣織を使用した長財布や、壁面で使用されている五七桐の唐紙文様を扇面で再現した京扇子をはじめとする「迎賓館ゆかりのオリジナル記念品」を迎賓館において販売しています。

この度、迎賓館南側に開所した清和院休憩所に、記念品販売所が移転オープンしました。営業時間は午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分、定休日は毎週水曜日（京都迎賓館の閉館日に準じる）です。

移転後の販売所は、迎賓館を参観されるお客様以外でも御利用いただけます。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。



当ビューローでは、文化、国際観光、MICE サポートを事業の柱とし、国内外への京都の魅力発信により地域発展に寄与するという事業目的に御賛同いただいた企業・団体等の皆様に賛助会員へ御入会いただいております。

この度、賛助会員様を対象に、迎賓館オリジナル記念品の特別価格での販売を開始します。

入会 1 口の会員様については定価から 1 割引き、複数口の会員様については 2 割引きでそれぞれ御購入いただけます。

京都の伝統産品も数多く取り揃えておりますので、お土産などに御活用ください。

なお、申込方法等につきましては、次のホームページを御参照ください。



長財布



京扇子

## 文化発信 第2回「古典の日文化基金賞」受賞者決まる

古典文化の研究・普及・啓発に貢献した個人と団体を顕彰する「古典の日文化基金賞」。昨年、特別賞として設けた「芳賀徹記念・古典の日宣言特別賞」を発展させ、若者たちの古典文化活動を応援する「未来賞」を新設しました。

「文学・思想」分野は、アイヌ伝統文化の普及保存活動を続ける知里森舎と学生を中心にアイヌ文化を次世代に継承する活動を続ける札幌大学ウレシパクラブの2団体の共同受賞に。

「伝統芸能・音楽」分野は、江戸時代から続く淡路人形浄瑠璃を継承する淡路人形座に。戦後、消滅の危機にあった淡路人形浄瑠璃の伝統を守り継ごうと発足、国内外で公演を続け、人形浄瑠璃の普及発展や後継の指導育成に尽力。

「美術・生活文化」分野は、フランス人で日本美術史家のクリストフ・マルケ氏。江戸・明治の日本絵画をフランスに紹介する中で、

日本でも見落とされていた大津絵の美と価値を再発見し海外に紹介。

「未来賞」は、「朗読劇」を通じて『源氏物語』を楽しく学ぶ活動を続けている宇治っ子朗読劇団☆ Genji、学校をあげて和歌に取り組み京都府立鳥羽高等学校で宮廷装束を身にまとい和歌を詠みあげる披講の伝統文化を継ぐ披講研究部、大学生が主催し小学生たちに短歌創作など古典に親しむ活動を続けている福岡県の津屋崎臨海学校実行委員会の3団体に贈られます。

また古典の日制定10周年にあたる今年、「古典の日」の普及発展と日本の伝統文化の継承に尽力されている雅楽師の東儀秀樹氏・典親氏父子に会長特別表彰が贈られます。

授賞式は9月2日（金）に行います。



古典の日文化基金賞ポスター

## 文化発信 街かど古典カフェスペシャル 「キーンさんが愛した京都」

「源氏物語」に魅かれ日本へ。古代から現代までの文学、歴史、芸能と幅広いジャンルの研究や翻訳に取り組み、日本文化の魅力を世界へ、そして日本人々に伝えたドナルド・キーンさん。生誕100年を記念して街かど古典カフェ「キーンさんが愛した京都」を開きます。京都大学で親交を深めた山極壽一さん（総合地球環境学研究所所長・前京都大学総長）の講演とキーンさんのご子息で浄瑠璃三味線奏者のキーン誠己さんを交えた対談を企画しました。会場の京都文化博物館で開かれる生誕100年記念展もあわせてお楽しみください。



日 時：9月14日（水）13：30～15：30（受付12：30）  
会 場：京都文化博物館 別館ホール（京都市中京区三条高倉）  
定 員：200名  
※新型コロナウイルスの状況で入場者数を変更することがあります。  
入場料：1000円（事前申込制）  
※記念展の入場料は別途お支払いください。

## 令和4年度「会員の集い」を 開催予定

新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度以降開催を中止しておりました。会員の皆様との貴重な交流の場であり、また「会員の集い」について、現在、開催に向けて調整を図っているところです。

先に賛助会員の皆様にお送りいたしましたアンケートでは、会食をせずとも開催されれば参加したいといったご意見もいただいております。

こうしたご意見も踏まえ、ともに、感染状況を見極め、感染防止対策も徹底した上でなるべく早い時期に開催したいと考えております。

おって、皆様にはご案内を差し上げますので、しばしお待ちいただきますようよろしくお願いいたします。

## 新規賛助会員のご紹介（受付順）2022年5月末受付分まで

ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts  
TEL：075-320-0111  
<https://www.rokukyoto.com/>

イビスタイル京都四条  
TEL：TEL：075-254-7280

エースプラン  
TEL：0774-24-4473

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー（KCVB） 〒600-8009 京都市下京区四條通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター 3階

TEL:075-353-3050 FAX:075-353-3055  
<https://hellokcb.or.jp>

